

別表-1 オフィシャルステージ・カップルトライ 検定アマルガメーション

カップルトライ 検定アマルガメーションについて

①教本記載フィギュアの一部を使用する場合は、「1-3 ナチュラル・ターン」、「1 バック・コレテ」のように表記している。

ナチュラル・ターンのステップ1から3	➡	1-3 ナチュラル・ターン
バック・コレテのステップ1	➡	1 バック・コレテ

②教本のチャート欄に記載されたもの以外の回転量を使用する場合は、(アンダー・ターン)、(オーバー・ターン)と表記している。
また、その場合の回転量もあわせて表記している。
「先行歩で左に1/8」など、次のフィギュアへの接続の影響で回転量が変わる場合も表記している。

③フィギュアのはじめ、または終わりでチャートの表記以外のポジションになるものは、そのポジションを表記している。

PP(プロムナード・ポジション)

OP(アウトサイド・パートナー・ポジション)

クローズド・ポジション など

④全体に回転量が増減する場合、(オーバー・ターン)または(アンダー・ターン)とし、変更した回転量を表記している。
またフィギュアの一部のステップに、回転の増減がある場合、(オーバー・ターン)または(アンダー・ターン)としながら、「ステップ〇-〇で〇回転」などと表記している。

⑤最終歩のアラインメント(男子)を記載している。(ダイレクションも含む)

⑥ダンススポーツ教本(特に、ルンバ、チャチャチャ)において、ステップではないタイミング(スウィブルなどのアクションのタイミング)として「&」が記載されているが、ここではステップや体重移動をとまなわない「&」カウントは原則として省略している。

⑦LODを変更する箇所には(コーナー)と、またアラインメントにも「新LOD」を表記している。

⑧教本の注の踊り方を使用する場合はそれを表記している。

⑨教本チャートページに記載の別のタイミングや別の方法は、使用しても良い。

⑩部屋の広さにより、LODを変更しなければならない場合は、回転量を調整しても良い。

⑪ジルバの回転量は参考としているので、その他のアラインメント(踊りなれた向き)で踊っても良い。

⑫ブルース、ジルバのフィギュア名などは、講談社の「モダンダンス教程(若林政雄)」も参考にしている。